



令和 4 年 1 月 27 日  
横浜市道路局企画課  
横浜市都市整備局都市交通課  
東急バス株式会社

## 公民連携で バス路線の維持・充実及び 交通利便性の向上に向けた取組をスタートします！

～横浜市と東急バス株式会社で基本協定を締結しました～

横浜市と東急バス株式会社（以下「東急バス」という。）は、青葉区北西部におけるバス路線の維持・充実及び交通利便性向上に向け、令和 4 年 1 月 26 日に基本協定を締結しました。本協定に基づき関係者と調整を進め、事業計画を策定し、公民連携での取組を進めます。



(右) 横浜市 副市長 平原敏英  
(左) 東急バス 取締役社長 古川卓

※撮影時のみマスクを外しています。

取組の背景として、少子高齢化による路線バスの利用者の減少や運転士不足により、都市部においても減便等が実施され、現在のバスネットワークのサービス水準を維持することが困難な状況にあります。そこで横浜市では、バス事業者と連携して、運行効率化とそれにより生じた経営資源を再配分する取組を進めており、その一環として、横浜市と東急バスが連携して本取組を実施するものです。

### 基本協定の概要

#### 目的

横浜市が策定した「横浜都市交通計画」における「政策目標 1 誰もが移動しやすい地域交通の実現」の趣旨（裏面参照）を踏まえ、「青葉区北西部におけるバス路線の維持・充実に向けた取組」を円滑に実施するため、取組の実施概要や役割分担等の必要事項を定めるものです。

#### 役割分担

東急バス	両者が協力して実施	横浜市
バス路線の維持・充実及び交通利便性向上に資する <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運行計画の策定</li> <li>・ バス運行に必要な施設整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業計画の策定</li> <li>・ 関係者調整</li> </ul>	バス事業者が運行効率化を図るうえで必要な <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 走行環境整備（道路整備）</li> <li>・ 上記に関連する測量、設計</li> </ul>

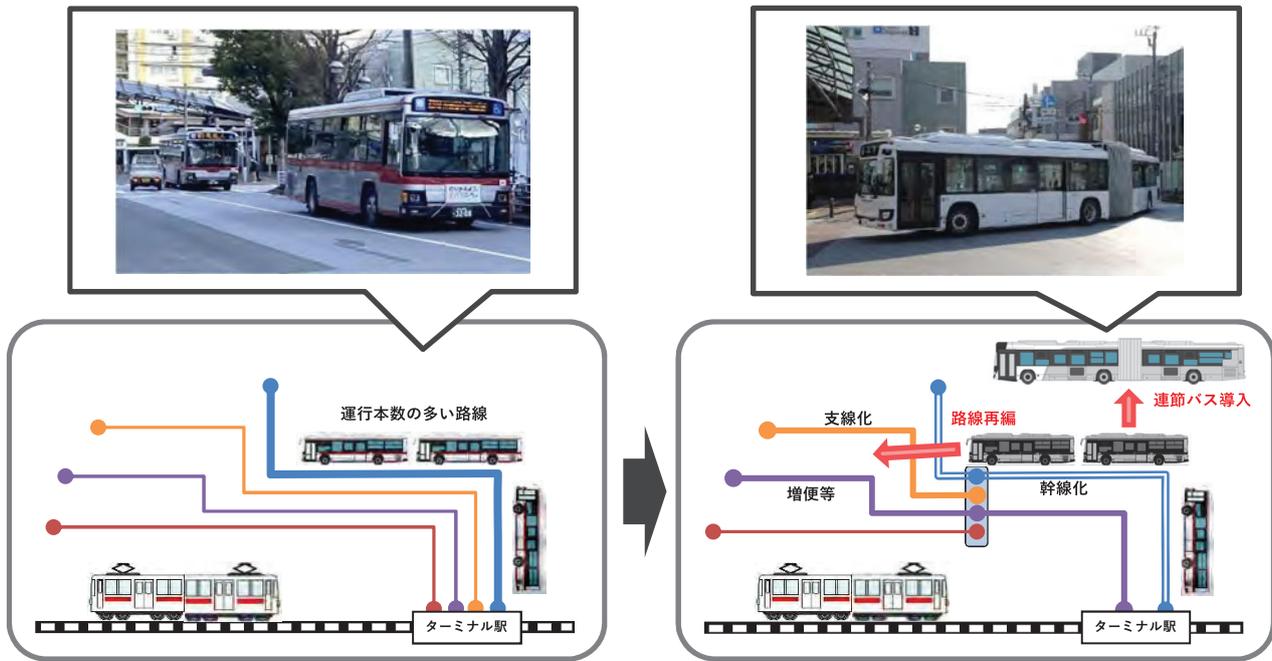
裏面あり

## 青葉区における取組実施の背景

青葉区は、東西方向を走る鉄道を骨格とし、各駅を起発着する路線バスが地域の交通ネットワークを形成しています。中でも、奈良地区など区北西部は高齢化が進んでおり、鉄道駅から距離もあるため、路線バスが重要な移動手段となっています。一方で長距離路線が多い事から運行効率が悪く、路線の存続が危惧されるなど、地域交通の確保が重要な課題となっています。また、当該地区の運行事業者である東急バスにおいても、運行効率化とそれに伴う経営資源の効率的配分に関する取組意向があったことから、公民連携による本取組を推進するに至ったものです。

## 参考：横浜都市交通計画「政策目標 1 誰もが移動しやすい地域交通の実現」（抜粋）

「横浜市において、バス路線の廃止等による交通不便な地域の発生を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、（中略）郊外部において、運行本数の多い路線への連節バスの導入など、バス事業者の経営資源を効率的に配分する取組を支援し、バス路線の維持・充実を図ります。」



バス路線の維持・充実に向けた取組イメージ

### お問合せ先

#### 【本取組に関すること】

横浜市道路局企画課担当課長

勝俣 英樹

Tel 045-671-2760

#### 【横浜都市交通計画に関すること】

横浜市都市整備局都市交通課長

村田 功

Tel 045-671-3515

#### 【運行事業者】

東急バス株式会社運輸事業部運輸計画部課長（渉外担当）

原山 大輔

Tel 03-6412-0124

# 青葉区における取組の進捗及び計画案

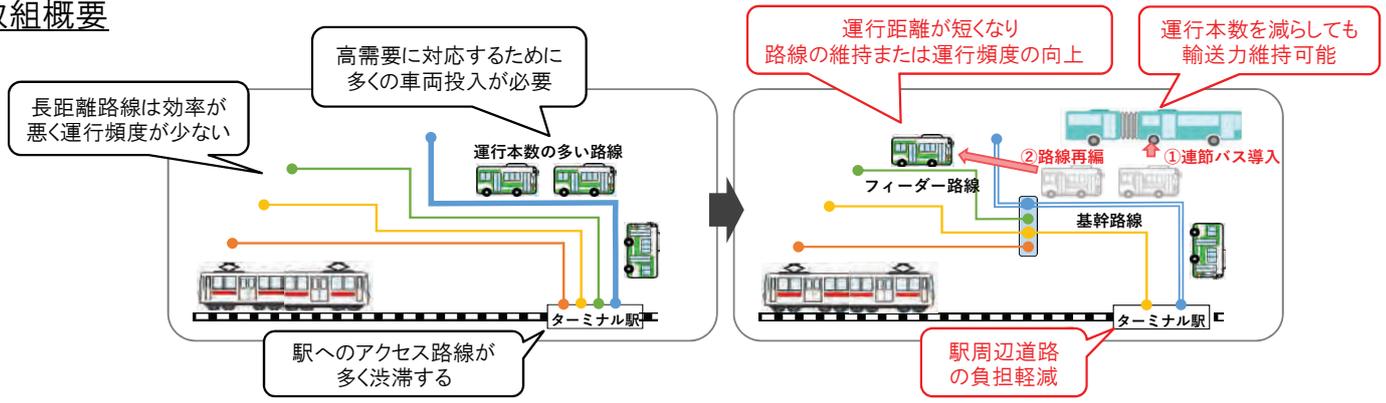
## ■取組実施の背景

- 青葉区は東西方向に走る鉄道を骨格として、各駅発着の路線バスが交通ネットワークを形成している  
⇒**バスネットワークの重要性が高い**
- 青葉区北西部は特に高齢化率が高い地域  
また、鉄道駅から遠く、長距離輸送路線が多い  
⇒**バス路線の維持が課題**
- 沿道に大学や高校がある路線は高頻度で運行  
⇒**多くの乗務員や車両を投入**
- 当該路線の運行事業者(東急バス株式会社)に連節バス導入の意向  
⇒**青葉区北西部において本事業を推進**



青葉区の交通ネットワーク

## ■取組概要



事業イメージ

# 青葉区における取組の進捗及び計画案

## ■取組の全体像

- 高頻度・高需要路線への連節バス導入や長距離路線のフィーダー化の実施などにより、運行効率化を行う
- 効率化で生み出された経営資源を再配分することにより、面的な**バスネットワークの維持・充実**を図る

### 【連節バスを導入する路線】

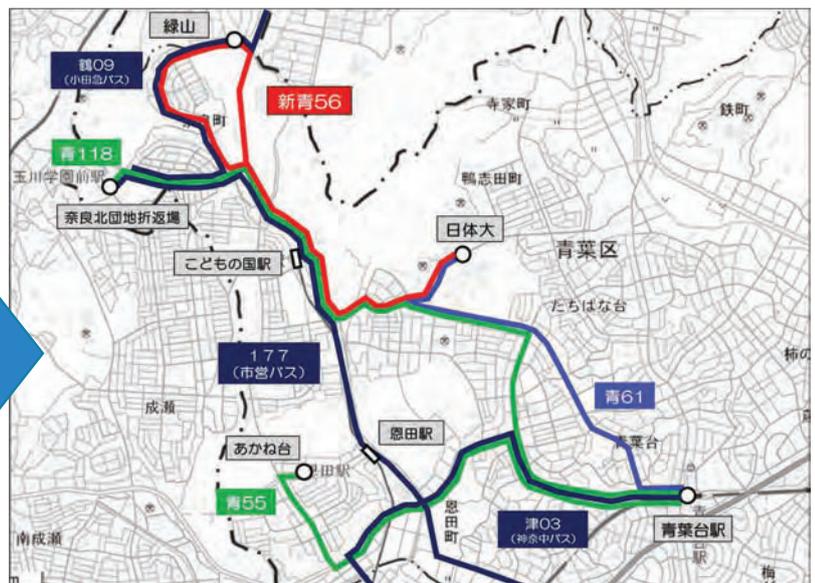
青61系統 青葉台駅～日体大

### 【長距離路線のフィーダー化】

青56系統 青葉台駅～緑山(循環)

### 【経営資源を再配分し、路線維持を行う路線】

青55系統 青葉台駅～あかね台  
青118系統 青葉台駅～奈良北団地折返場



## 横浜市初

## 公民連携で バス路線の維持・充実及び 交通利便性の向上に向けた取組をスタートします！

～横浜市と神奈川中央交通株式会社で基本協定を締結しました～

横浜市と神奈川中央交通株式会社（以下「神奈川中央交通」という。）は、ドリームハイツ周辺地区を中心とした戸塚区南西部におけるバス路線の維持・充実及び交通利便性向上に向け、令和2年9月4日に基本協定を締結しました。本協定に基づき関係者との調整を進め、令和3年度上半期を目途に事業計画を策定し、公民連携での取組を進めます。



（左）横浜市 副市長 平原敏英  
 （右）神奈川中央交通 取締役社長 堀康紀

取組の背景として、少子高齢化による路線バスの利用者の減少や運転士不足により、都市部においても減便等が実施され、現在のバスネットワークのサービス水準を維持することが困難な状況にあります。そこで横浜市では、バス事業者と連携して、運行効率化とそれにより生じた経営資源を再配分する取組を進めており、その一環として、横浜市と神奈川中央交通が連携して本取組を実施するものです。

### 基本協定の概要

#### 目的

横浜市が策定した「横浜都市交通計画」における「政策目標1 誰もが移動しやすい地域交通の実現」の趣旨（裏面参照）を踏まえ、「ドリームハイツ周辺地区を中心とした戸塚区南西部におけるバス路線の維持・充実及び交通利便性向上に向けた取組」を円滑に実施するため、取組の実施概要や役割分担等の必要事項を定めるものです。

#### 役割分担

#### 横浜市

バス事業者が運行効率化を図る  
うえで必要な

- ・ 走行環境整備（道路整備）
- ・ 上記に関連する測量、設計

#### 両者が 協力して実施

- ・ 事業計画の策定
- ・ 関係者調整

#### 神奈川中央交通

バス路線の維持・充実及び交通利便性向上に資する

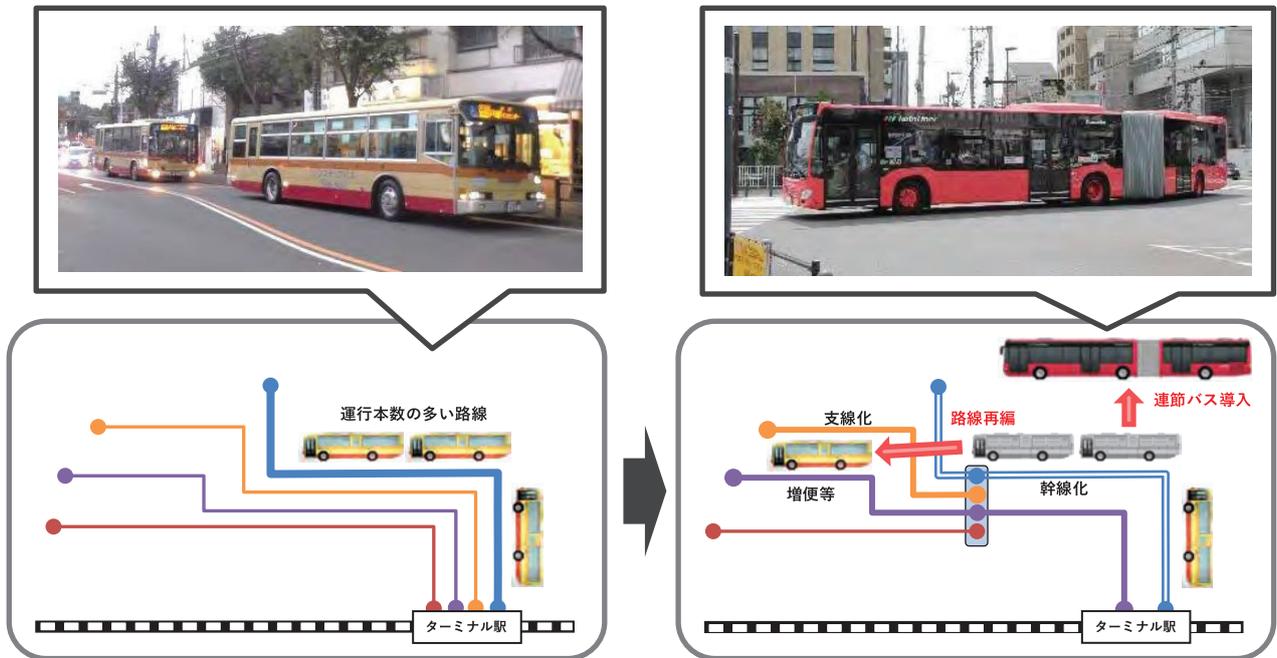
- ・ 運行計画の策定
- ・ バスの運行

## 戸塚区における取組実施の背景

戸塚区は、横浜市の中でも区の面積と比較して鉄道駅が少なく、バスネットワークの重要性が高い一方で、特に区南西部は将来、人口減少によるバス利用者の減少が危惧されており、地域交通の確保が課題となっています。また、当該地区の運行事業者である神奈川中央交通においても、運行効率化とそれに伴う経営資源の効率的配分に関する取組意向があったことから、公民連携による本取組を推進するに至ったものです。

## 参考：横浜都市交通計画「政策目標 1 誰もが移動しやすい地域交通の実現」（抜粋）

「横浜市において、バス路線の廃止等による交通不便な地域の発生を回避し、市民の日常生活の利便性を確保するため、（中略）郊外部において、運行本数の多い路線への連節バスの導入など、バス事業者の経営資源を効率的に配分する取組を支援し、バス路線の維持・充実を図ります。」



バス路線の維持・充実に向けた取組イメージ

お問合せ先		
【本取組に関すること】		
横浜市道路局企画課担当課長	勝俣 英樹	Tel 045-671-2760
【横浜都市交通計画に関すること】		
横浜市都市整備局都市交通課長	村田 功	Tel 045-671-3515
【運行事業者】		
神奈川中央交通株式会社運輸計画部課長（計画担当）	露木 輝久	Tel 0463-22-8830

# 戸塚区における取組について

## 基本の取組

### 戸塚方面 連節バスの導入

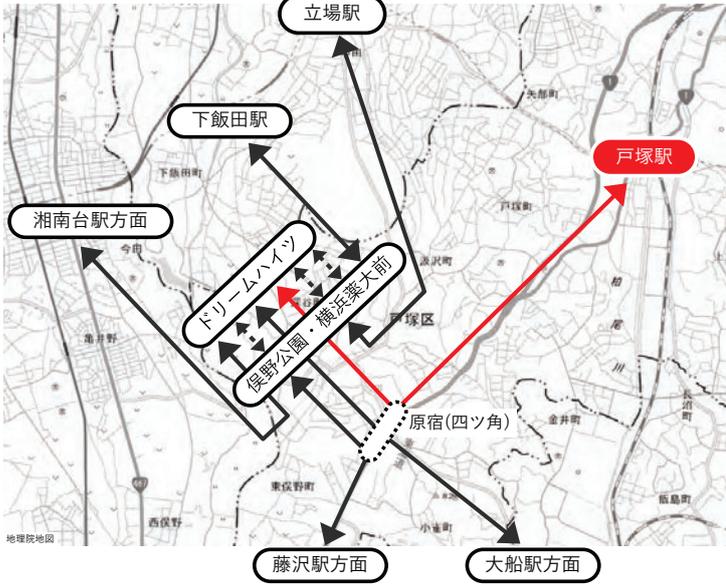
※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

#### 【取組の概要】

- ・ドリームハイツ～戸塚バスセンター間に導入
- ・朝と夕方に、通常の大形バスと混在して運行
- ・連節バスの便は戸塚駅近くの一部バス停を通過

#### 【取組による効果・影響】

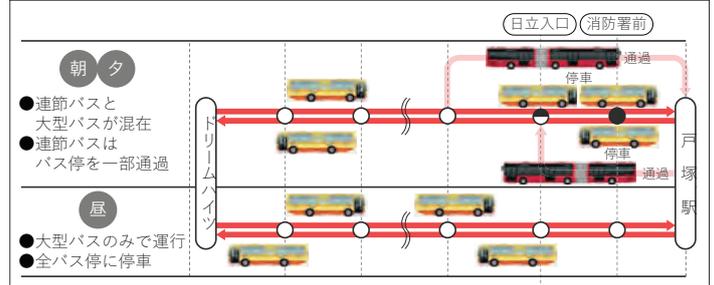
- ・駅直近のバス停通過による**定時性向上**
- ・**1時間あたり2～4便程度減便**(輸送力は確保)



連節バス導入前後の1時間あたり便数 (目安)				
俣野公園・横浜薬大前バス停⇄原宿バス停				
	取組前	最小・最大の運行間隔	取組後	最小・最大の運行間隔
朝 (戸塚方面)	17便	(3～6分)	<b>13便</b>	(3～10分)
昼※1 (両方向)	7便	(4～13分)	<b>5便</b>	(6～20分)
夕 (ドリームハイツ方面)	11便	(4～10分)	<b>7便</b>	(4～15分)
原宿バス停⇄戸塚バスセンター ※藤沢発着を含む				
	取組前	最小・最大の運行間隔	取組後	最小・最大の運行間隔
朝 (戸塚方面)	20便	(1～5分)	<b>17便</b>	(1～10分)
昼※1 (両方向)	10便	(1～9分)	<b>8便</b>	(1～20分)
夕 (ドリームハイツ方面)	15便	(2～6分)	<b>11便</b>	(2～10分)

※1ダイヤ全体の見直しにより、連節バスが運行する朝夕以外にも一部便数が変わる可能性がある時間帯が存在するため、参考に記載しています。

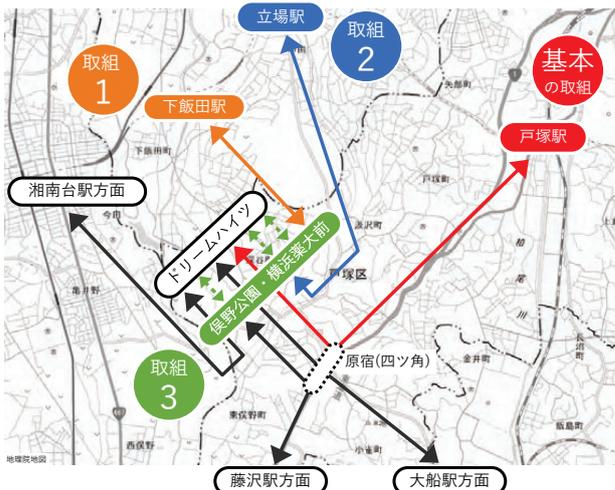
#### 連節バスによる運行のイメージ



# 戸塚区における取組について

※実施する取組の内容や停車するバス停、運行間隔等は現時点での想定であり、関係者との協議や、将来的な利用状況に応じて変更となる場合があります。

「連節バスの導入」(基本の取組)によって生み出された経営資源を、「他の路線の維持・強化」(取組1～3)に充てます。



#### 【取組み対象路線図】

## 基本の取組

### 戸塚方面 連節バスの導入

- ・ドリームハイツ～戸塚バスセンター間に連節バスを導入

#### 取組1 下飯田方面 収支の悪い路線の強化

- ・俣野公園・横浜薬大前～下飯田駅の運行便数を増加
- 【取組による効果・影響】
- ・下飯田駅方面の始発の繰上げ(8時台⇒6時台)
  - ・俣野公園・横浜薬大前方面の終車の繰下げ(19時台⇒20時台)
- ※駅前広場完成後の下飯田駅で折返した場合の想定です

#### 取組2 立場方面 路線の維持

- ・利用者が減少により廃止の検討可能性がある路線を当面維持
- 【取組による効果・影響】
- ・廃止の検討可能性がある路線を当面維持

#### 取組3 俣野公園・横浜薬大前での乗継強化

- ・多方面への乗継ぎに対して、運賃割り引きを行います (俣野公園・横浜薬大前でバスを乗り継いだ利用者の、初乗り運賃相当額を割り引きします。(ICカードでの運賃支払いに限ります。))
- 【取組による効果・影響】
- ・ドリームハイツから立場・藤沢方面への利便性が向上
  - ・ドリームハイツからの直通便が無い時間帯における各駅への利便性も向上

1月4日(水)から

「都筑区都田・池辺地区ワゴン型車両による地域交通の実証実験」

## 「ワゴン型車両（市営 600 系統）」 による運行を開始します！

都筑区都田・池辺地区では、地域ニーズをお聞きしながら地域に適したバス路線を検討してきました。このたび、新設された公共施設へのアクセスや、時間帯に応じた循環方向の変更、利便性向上のためのフリー乗降区間の設定など、細かなニーズに対応できるワゴン型車両（市営 600 系統）を導入した実証実験を令和5年1月4日（水）から開始します。なお、横浜市交通局におけるワゴン型車両の運行は初めての取組となります。

### ■都田・池辺地区 実証実験ルート図



### 《実証実験の特徴》

令和4年6月開設の公共施設へのアクセス

「都田地区センター・都田地域ケアプラザ」へのアクセスを確保

需要に応じて循環方向を変更

**循環・外回り**

仲町台駅発：7時台～8時台

**循環・内回り**

仲町台駅発：9時台～20時台

※日曜・祝日は時間帯が異なります

交通局初のフリー乗降実施

「都田地区センター～都筑スポーツセンター手前」において、自由に乗り降りできる区間を設定

キャッシュレスの実施

交通系ICカードや敬老パスといった、キャッシュレスな支払方法（現金は使用不可）

※運賃等は、裏面をご覧ください。

【裏面あり】

## ■運行計画の概要

- 【運行区間】 仲町台駅～都田地区センター・ケアプラザ～仲町台駅（1周：約7.5km、約34分）
- 【運行事業者】 横浜市交通局
- 【車両】 ワゴン型車両（乗客定員12名）
- 【運行日時】 平日・土曜 7時台～20時台、14便/日（1便/時間）  
日曜・祝日 9時台～18時台、10便/日（1便/時間）
- 【運賃】 大人220円、小児110円
- 【支払方法】 交通系ICカード、敬老パス、定期券及びその他の乗車券使用可  
※現金はご使用になれません。  
※車いすご利用者は、車いすの折り畳みと介助者による介助によりご利用可能です
- 【運行期間】 令和5年1月4日(水)～令和6年3月31日(日)（予定）

## ■運行ダイヤ

《平日・土曜日》 ○朝は循環・外回り（2便）○その他の時間帯は循環・内回り（12便）

循環・外回り			循環・内回り													
停留所名	1便	2便	停留所名	3便	4便	5便	6便	7便	8便	9便	10便	11便	12便	13便	14便	
仲町台駅	7:00	8:00	仲町台駅	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	
淡島神社前	7:04	8:04	天満宮	9:07	10:07	11:07	12:07	13:07	14:07	15:07	16:07	17:07	18:07	19:07	20:07	
都田地区センター・ケアプラザ	7:16	8:16	フリー乗降区間	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	↓	
フリー乗降区間	↓	↓	都田地区センター・ケアプラザ	9:16	10:16	11:16	12:16	13:16	14:16	15:16	16:16	17:16	18:16	19:16	20:16	
天満宮	7:23	8:23	淡島神社前	9:25	10:25	11:25	12:25	13:25	14:25	15:25	16:25	17:25	18:25	19:25	20:25	
仲町台駅	7:34	8:34	仲町台駅	9:34	10:34	11:34	12:34	13:34	14:34	15:34	16:34	17:34	18:34	19:34	20:34	

※主な停留所名を標記しています

日曜・祝日やダイヤの詳細などは、交通局ウェブページ（時刻表検索）をご覧ください



《運行車両と仲町台駅のりば》



《出入口の様子》



《敬老パス対応》

お問合せ先
道路局企画課担当課長 森 高次 Tel 045-671-2760

地域交通の実証実験として「上永谷駅北側予約型乗合バス」

## ながなが号 の運行を開始します！

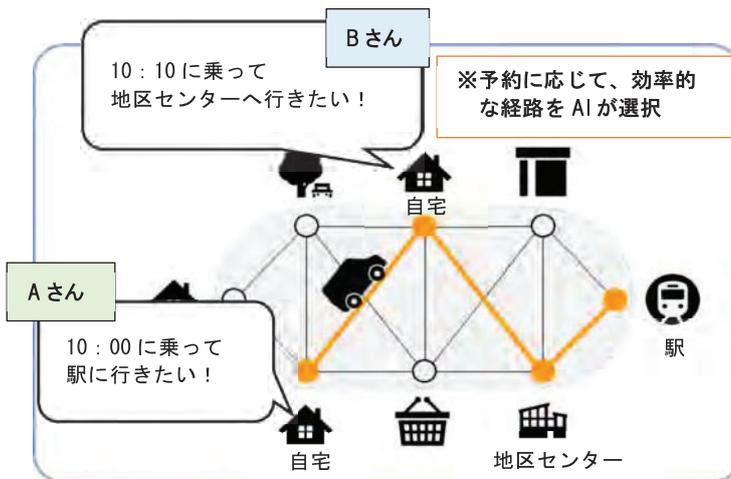
～デマンド型実証実験・10月から半年間運行予定～

横浜市では、持続可能な地域交通の実現を目指して「地域交通サポート事業」を展開しています。

このたび、港南区永野・永谷地区において、「地域交通サポート事業」として、初の試みとなるインターネットや電話で予約を行い、予約状況に応じて運行する「デマンド型交通」の実証実験を行います。

### ■デマンド型交通のイメージ

- ・利用者はインターネットまたは電話で予約（予約がなければ運行しない）
- ・予約状況に応じて効率的に運行（運行経路は最も効率的なルートを選択）



### ■運行車両



### ■実証実験の概要

運行エリア	港南区永野・永谷地区及び上永谷駅（位置図は別紙1参照）
期間	令和4年10月3日（月）から令和5年3月17日（金）まで
利用時間	平日・午前10時00分から午後5時00分まで ※土休日及び年末年始（12/30～1/3）は運休
運行事業者	湘南交通株式会社（予約システムは株式会社NTTドコモ）
車両	ワゴン型車両（乗客定員8名）
利用方法	インターネット又は電話からの事前予約制（詳細は別紙2参照）
運賃	一人1回乗車毎に400円
利用対象者	港南区永野・永谷地区に居住する65歳以上の方



— デマンド型交通の利用イメージ（登録と予約の方法） —

① 利用登録  
(初回のみ)

・予約サイトを開いて、あらかじめ「氏名」や「電話番号」など利用登録をします。

**【登録イメージ】**

氏 名

電話番号

**登録**

② 乗車予約

・インターネットまたは電話で乗車予約をします。  
・「乗車停留所」、「降車停留所」、「乗車希望日時」、「乗車人数」などを  
入力又は伝えます。

**【予約イメージ】**

乗車停留所

降車停留所

希望日時

乗車人数

**予約**

③ 予約確定

・予約に空きがあれば AI が最適な経路を選択し「乗車予定時刻」を提案します。  
・予約を確定すると「予約番号」が表示されます。

**【予約確定イメージ】**

予約予定時刻：●時●分

予約番号

● ● ●

④ 乗車

・乗車予定時刻までに乗車停留所へ行き「予約番号」を乗務員に告げて乗車します。





青葉区新石川地区 令和5年1月16日～2月28日

## 民間企業との共創による、生活サービスと連携した 新たな公共交通サービスの実証実験を実施します！ ～新石川地区の移動を便利に～

横浜市では、主な交通手段であるバスネットワークの維持、地域内の多様な移動ニーズに対応するため、今年度から地域の総合的な移動サービスの検討として、関係区局が実証実験を進めています。

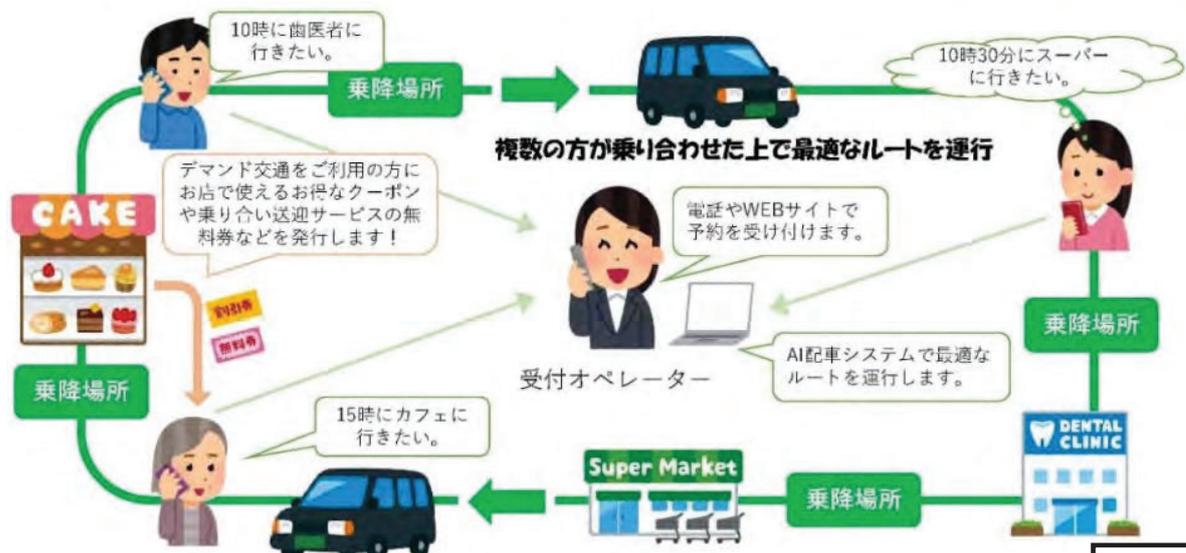
**このたび、政策局・青葉区は、東急株式会社・株式会社E P A R K・ライオン株式会社との共創により、地域の商業・飲食・医療等の生活サービス関連施設・店舗と連携した、新たな交通サービスの実証実験を実施します！**

多くの方々に本交通サービスをご利用いただき、利用後のアンケートを通じて寄せられた皆様の声や利用状況などの効果検証を実施していくことで、**地域に適した持続可能な交通サービスの事業化に繋がっていきますので、積極的な参加登録とご利用をお願いします。**

### 1 実証実験の概要

運 行 概 要	事前予約（日時・乗降スポット・人数）に応じて、ルートやスケジュールを柔軟に組み合わせ、ワゴン車を運行する「デマンド型乗合交通」
運 行 期 間	令和5年1月16日（月）～2月28日（火）まで
運 行 時 間	月～金曜日の午前9時～午後8時まで（土日、祝日は運休）
運 行 エ リ ア	青葉区新石川1～4丁目・乗降スポット51箇所（別紙1）
運 行 車 両	ワゴン型車両1台（乗客定員6名・予約に応じて不特定の複数の方が乗車）
運 賃	一人1回乗車毎に、大人300円／小児150円
予 約 方 法	スマートフォンやPCからのインターネット予約、または電話からの予約
支 払 い 方 法	乗車時に現金、クレジットカード、電子マネー等で支払い
生活サービスとの連携 （外出促進施策）	本実験と連携する生活サービスの施設等のご利用者に、1回分の運賃が無料となる交通チケットを配布
連携する生活サービス 施設・店舗	あざみ野駅・たまプラーザ駅を中心に新石川周辺のスーパー・飲食店・クリニックなど約400以上の施設・店舗（大型商業施設のテナント含む）（別紙1）

（参考：デマンド型乗合交通のイメージ）



裏面あり

## 2 実証実験への参加登録方法、利用方法説明会の実施

交通サービスの利用には実証実験への参加登録が必要となり、令和5年1月31日（火）まで横浜市ホームページにて参加者募集中です（別紙2・下記二次元バーコード参照）。また、下記日程で利用方法説明会を開催します。

開催日時	令和4年12月23日（金）・令和5年1月21日（土） 両日とも10～11時、13～14時、15～16時の3回開催（開場時間10～17時）
会場	宮元自治会館（青葉区新石川1丁目24-12）
内容	・スマートフォンや電話による予約方法や乗車方法、交通チケットの取得・使用方法など ・スマートフォンや申込書での参加登録作業をスタッフがお手伝いします！



（参考：運行車両のイメージ）

運行車両はこちらが目印です。



参加登録、予約・乗車方法、交通チケットの配布場所など、横浜市ホームページをご確認ください！



## 3 民間企業との共創による、地域の生活サービスとの連携について

### （1）経緯

ライフスタイルの変化に伴う外出機会の減少や、公共交通利用の減少に伴う路線バスの減便など、交通サービスの縮小が進んでいます。また、これらは、商業・飲食・医療など地域の生活サービス施設の利用にも影響を及ぼすなど、まちの機能・価値にも影響を及ぼす可能性があります。

今回の実証実験では、地域の方々の日常生活を支える交通サービスと生活サービスを連携させ、移動手段の確保に加え、外出のきっかけを作ることで、外出促進・サービス利用に繋げていくことを狙いとしています。

こうした中、民間事業者等との連携窓口である「共創フロント」を通じて、東急株式会社、株式会社EPARK、ライオン株式会社から、生活サービスと交通サービスの連携に関する提案をいただきました。

#### 【共創フロント】

横浜市では民間事業者の皆様から公民連携に関する相談・提案をいただく窓口として、「共創フロント」を開設しています。共創フロント発の多くの連携事例が生まれています。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/kyoso/kyosofront/front/front.html>

### （2）連携の内容

- 交通サービスと生活サービスの連携による移動のきっかけづくりに関する検討
- 新石川地区の生活サービス関連の個別施設・店舗への「実証実験参加依頼」「ポスター掲示等の広報」「交通チケットの配布」などの連携に向けた調整
- たまプラーザ地域ケアプラザの高齢者向け健康講座へのコンテンツ（介護ゲーム機）提供

(参考：実証実験の実施体制)

横浜市		実証実験の企画、地域や企業等との総合調整
横浜市 委託業務	(株)日建設計総合研究所	実証実験の検討・運営・効果検証等
	神奈川県都市交通(株)	交通サービスの運行
	(株)NTTドコモ	交通サービスの予約・配車システム
公民連携	東急(株)  <b>東急</b>	交通サービスと生活サービスの連携に関すること (前頁の3(2))
	(株)EPARK 	
	ライオン(株) 	

(参考：高齢者向け健康講座に提供するコンテンツ (介護ゲーム機))

ライオン株式会社による、モーションセンサーと音声認識機能を搭載した介護ゲーム機「TANO-LT」を用いたコンテンツ。ゲーム機の前で動き発声するだけでゲームができるため、簡単に運動機能や口腔機能をトレーニングできます。ゲーム感覚で楽しく続けることで、加齢により心身が追い衰える”フレイル (オーラルフレイルを含む)” の予防を期待できます。

TANO-LT 公式サイト：<https://www.lion.co.jp/inno/tano-lt/>

別紙1：ワゴン型車両の乗降スポット、実証実験と連携する生活サービスの施設・店舗

別紙2：実証実験周知ポスター

お問合せ先			
政策局政策課	担当課長	小林 和広	Tel 045-671-4172
青葉区区政推進課	担当課長	梶山 祐実	Tel 045-978-2349

# タクシーの活用（相乗り）について

## 1 タクシー相乗り実証実施の概要

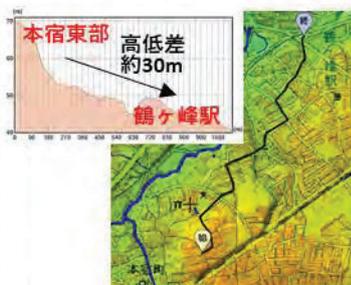
- ・地域とタクシー事業者との調整に横浜市が総合調整役として参画し、三者で地域に適した仕組みを検討します。（基本的な枠組みは地域交通サポート事業と同様）
- ・地域にとっては移動手段の確保等につながります。タクシー事業者にとっては需要の確保・創出等につながります。

## 2 体験乗車会の実施

- 区 間 : 本宿東部自治会内～鶴ヶ峰駅南口（下図参照）
- 期 間 : 2週間 11月14日（月）～27日（日）
- 時間帯 : 昼間（9～15時）
- 料 金 : 相乗り体験のため無料
- 事業者 : 二重交通（株）、日本交通横浜（株） ※上記期間を1週間ずつ担当  
※タクシー協会において説明のうえ、2社に協力いただくことになりました。

### <運行ルート・乗降場所>

- ・本宿東部自治会世帯数：約1,800世帯
- ・鶴ヶ峰駅から約1.2km
- ・二俣川駅から約1.4km



【駅側 乗降場所】



【地域側 乗降場所1】



【地域側 乗降場所2】



体験乗車会対象エリア  
（本宿東部自治会の一部）  
対象自治会加入世帯：約310世帯

※ 関東運輸局・道路管理者（旭土木事務所）・交通管理者（旭警察署）とは調整済みです。

無料体験乗車を開催します

買い物・通院・趣味...どんなお出かけにも使ってみてください！

# 「相乗り」タクシー乗ってみませんか！

体験無料

要予約

片道だけ・往復利用  
どちらもOK!

本宿町発（鶴ヶ峰駅南口行）

出発時間

9:00、10:00、11:00  
12:00、13:00、14:00

※地図は裏にあります

定員3名

乗車時間  
約5分

鶴ヶ峰駅南口発（本宿町行）

出発時間

9:10、10:10、11:10  
12:10、13:10、14:10

※地図は裏にあります

【開催期間】 11月14日（月）～27日（日）の2週間

乗る日の2日前から前日までに電話で予約してください！（受付:9～16時）

11/14(月)～11/20(日) : 045-362-5315 (二重交通株式会社)

11/21(月)～11/27(日) : 045-811-5238 (日本交通横浜株式会社)

予約方法は裏面をご覧ください！

## 「相乗り」タクシーとは？（イメージ）

バス

バス 220円

時刻表の  
時間に  
合わせて

バス停で乗る

## 「相乗り」タクシー

地域で  
決めた  
時刻に  
合わせて



タクシーの  
半額程度

集まって乗る

ちょっと  
歩いて

タクシー



800円  
～  
1,000円

呼べば  
いつでも

家の前で乗る

※乗車後、簡単な聞き取り調査にご協力ください！  
※出発時間に遅れると乗れないことがあります。

※新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。  
※乗車時はマスクの着用をお願いします。

【体験乗車会のお問合せ先】

提供者：横浜市都市整備局都市交通課 TEL:045-671-4128

裏面あり

# 乗り降り場所

## 鶴ヶ峰駅南口発



タクシー乗車場所

スーパー「相鉄ローゼン」の入口付近です!

### 出発時間

9:10、10:10、11:10  
12:10、13:10、14:10



### 【予約方法(例)】

- ①「相乗りタクシーの予約です」
- ②「20日、木曜日の9時、本宿町発でお願いします」
- ③「乗車場所2から乗ります」



## 本宿町発

### 出発時間

9:00、10:00、11:00  
12:00、13:00、14:00

**1・2のどちらでも利用OK!**  
(予約の時どちらから乗るか教えてください!)

【乗車場所1】アパートの駐車場です!



タクシー乗車場所

【乗車場所2】



タクシー乗車場所

学校沿い、郵便ポストの近くです!

※1⇒2の順で運行するため、しばらくお待ちいただく可能性があります。



～横浜市地域交通サポート事業～

# 泉区新橋地区で「アッテ号」の 実証運行を開始します！

11月1日(火)から

横浜市では、持続可能な地域交通の実現を目指し、地域交通サポート事業を展開しています。このたび、泉区新橋地区において、地域の皆さまが主体となり、地域交通サポート事業を活用し、緑園都市駅・弥生台駅と新橋地区を結ぶワゴン型車両による乗合バス「アッテ号」の実証運行を開始します。

## 1 実証運行の概要

<b>運行区間</b>	緑園都市駅～弥生台駅北口～緑園都市駅（1周：約7.1km、約32分）
<b>運行事業者</b>	神奈中タクシー株式会社
<b>車両</b>	ワゴン型車両（乗客定員9名）、愛称「アッテ号」
<b>運行日時</b>	平日8時台～16時台、10便/日（土休日及び12月30日～1月3日は運休）
<b>運賃</b>	1人300円（未就学児 無料）、現金のみ
<b>運行期間</b>	令和4年11月1日(火)～令和5年10月31日(火)（予定）

※ 実証運行ルートについては、裏面をご覧ください。

## 実証運行とは

継続的に自立した運行が可能か検証するため、試験的にバスの運行を実施することです。実証運行の利用状況を踏まえて、本格運行の実施を判断します。

## 「アッテ号」の由来

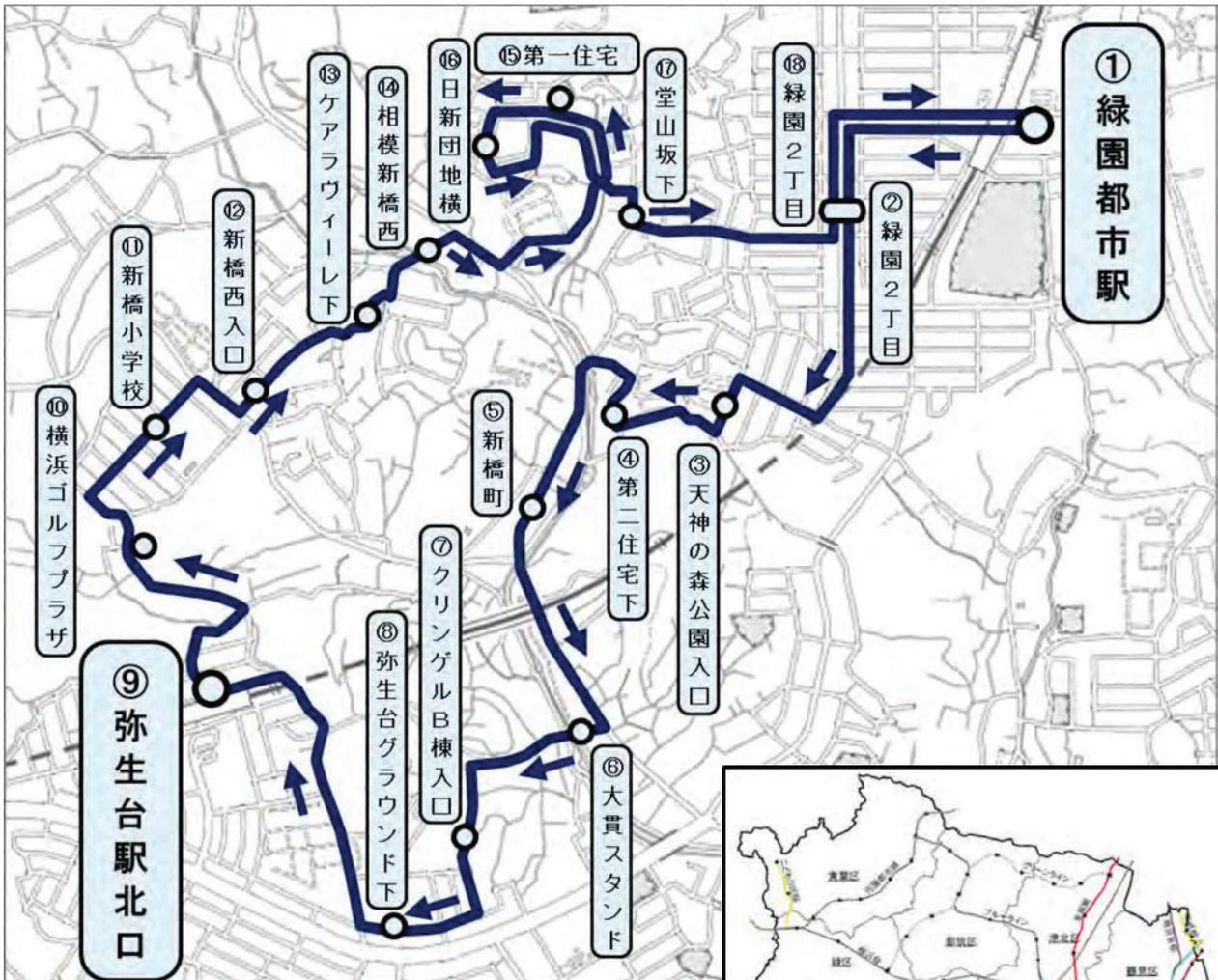
「アッテ号」という愛称は、地域の皆さまが次のような想いを込めて名付けました。

- ①移動手段の提供により、困っている人を地域で支えアッテ
- ②ルート選定では多くの方が少しでも便利になるよう理解しアッテ
- ③健康のため外出機会を増やそうと誘いアッテ



車両イメージ

## 2 実証運行ルート



出典：国土地理院ウェブサイト

## 3 取組の経緯

- 平成 29 年 7 月 地域の取組を開始
- 令和 3 年 11 月 運行計画を策定し、それに基づき  
需要予測アンケート調査を実施
- 令和 4 年 11 月 実証運行を開始



お問合せ先			
道路局企画課交通計画担当課長	藤江	千瑞	Tel 045-671-2755
泉区区政推進課長	河村	信之	Tel 045-800-2330